



泗水中学校提供「体育祭」

菊池

題字／泗水中学校2年 田本 凜花さん

議会だより

3月定例会 Contents

定例会審議結果	2
委員会報告	3~8
12人が市政を問う	10~15
各種研修報告	16~17
意見交換会	18~19

この定例会では、条例の制定、補正予算、当初予算など34議案が提案されたほか、議員提出議案が3件、議事が2件、報告が2件あり、慎重に審議しました。

審議の結果、議員提出議案第3号を除き、原案のとおり可決しました。議員提出議案第3号は否決となりました。

開催日：2月19日（水）～3月19日（水）

主なものは以下のとおりです。

主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議 案 名	結 果
議 案 第 2 1 号	令和7年度菊池市一般会計予算 (P7に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議 案 第 2 2 号	令和7年度菊池市国民健康保険事業特別会計予算 (P8に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議 案 第 2 3 号	令和7年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議 案 第 2 4 号	令和7年度菊池市介護保険事業特別会計予算 (P8に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議 案 第 2 7 号	第五次菊池市行政改革大綱の策定について	原案可決
議員提出議案 第 3 号	菊池市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について (P4に本会議での審査内容の一部を掲載しています)	原案否決

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議 案	結 果	議席番号 表 決 数 賛成 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			本 藤 潔	安 武 睦 夫	稲 継 智 康	古 田 浩 敏	島 春 代	大 山 宝 治	田 中 教 之	福 島 英 徳	緒 方 哲 郎	後 藤 英 夫	東 奈 津 子	水 上 隆 光	猿 渡 美 智 子	荒 木 崇 之	工 藤 圭 一 郎	二 ノ 文 伸 元	泉 田 栄 一 朗	木 下 雄 二	山 瀬 義 也
議 案 第 2 1 号	可決	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 2 2 号	可決	15 対 3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	●	○	○	○	○	○	○
議 案 第 2 3 号	可決	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 2 4 号	可決	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 2 7 号	可決	15 対 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	●	●	○	○	○	○	○
議員提出議案第3号	否決	7 対 11	●	●	○	○	●	○	●	○	●	●	●	/	●	○	●	○	●	○	●

総務文教常任委員会報告

委員長／緒方 哲郎 副委員長／島 春代 委員／稲継 智康 福島 英徳 工藤 圭一郎 木下 雄二

可決

【議案第1号】

菊池市公共交通会議
条例の制定について

内容 地域公共交通計画

の作成に関する協議及び地域の需要に応じたバス等の旅客運送の確保に関する協議等を行う菊池市公共交通会議を設置するため、条例を制定するもの。

質疑 現在、地域公共交通計画（案）のパブリックコメントを募集中とのことだが、条例を制定する意味は何か。

答弁 現在の菊池市公共交通会議要綱の規定に基づき、地域公共交通計画（案）を策定したが、その要綱には、委員等に対する報酬の規定がないため、条例化して報酬を支払えるようにするもの。

可決

【議案第2号】

菊池市中学校部活動
地域展開検討協議会
条例の制定について

内容 中学校の部活動の

地域展開について調査審議を行う菊池市中学校部活動地域展開検討協議会を設置するため、条例を制定するもの。

質疑 部活動の地域移行をするか否かを協議会で決めるのか。また何年度を目標に協議していくのか。

答弁 部活動を地域展開するの否かを含めて協議会で検討した結果に基づき、教育委員会で判断したい。検討期間は、令和7年度の1年間としたい。



福祉厚生常任委員会報告

委員長／猿渡 美智子 副委員長／本藤 潔 委員／古田 浩敏 東 奈津子 二ノ文 伸元 泉田 栄一郎

可決

【議案第8号】

菊池市手話言語の普及及び障がいの
特性に応じたコミュニケーション手段の
利用の促進に関する条例の制定について

内容 手話言語の普及、

及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する基本理念を定め、市が推進する施策を定めることで、全ての市民が共に安心して暮らすことができる共生社会の実現を目的に、条例を制定するもの。

質疑 当事者の方々との意見交換等を行うのか。

答弁 当事者はもちろん、手話サークルの団体等から意見を伺い、より良い施策ができるよう努めていく。

質疑 第7条に定める、具体的な施策は何か。

答弁 市民の理解を深めるため、広報やホームページ、チラシ配布等による周知に取り組み、今後、関係者と協議して進めていきたい。

質疑 手話ができる人を増やすことが大切だと考えるが、講習会などは行っているのか。

答弁 菊池圏域2市2町合同で養成講座を行っている。



経 済 建 設 常 任 委 員 会 報 告

委員長／田中 教之 副委員長／安武 睦夫 委員／大山 宝治 後藤 英夫 荒木 崇之 山瀬 義也

定例会

委員会・分科会

一般質問

研修・視察等

その他

【議案第10号】

可決

菊池市都市公園条例
の一部を改正する
条例の制定について

内 容 令和6年3月に国

土交通省のかわまちづくり
事業により整備された河川
区域の公園を、都市公園と
して位置づける必要がある
ため、条例の一部を改正す
るもの。



迫間川つなぎ石公園

質 疑 条例の改正を公園
の供用開始後にした理由
は。

答 弁 公園の名称が決
まっていなかったためであ
る。

可決

財産の無償譲渡に
ついて

【議案第29号】

内 容

福本二区から現況
が更地の市有地を消防団詰
所用地として利用したい旨
の要望があり、公益上、必
要があると認められるた
め、当該地を無償譲渡する
もの。

質 疑

当該地は道路残地
だったのか。

答 弁

道路残地ではな
く、以前庁内で行われた財
産の所管課の見直しにより
土木課に移管されていたも
の。

否決

議員定数条例の一部
を改正する条例案

内 容

議会改革検討特別委員会
の一番メインの審査項目だった議員
定数について、市民アンケートを取
り、61%の市民が議員定数削減を望
んでいる結果となり、審査を重ねた
ものの定数削減の提案には至らな
かった。市民の声を聴く立場の議会
が、市民の声を無視して現状維持を
選択することは菊池市議会の信頼を
失墜させてしまうと思われる。また、
人口減少している本市において議員
定数削減は、避けて通れないと考
える。よって、議員定数を20人から18
人に削減する条例案を提出する。

反対討論

本市議会は3つの常任
委員会が構成されており、2人削減
すると1つの常任委員会は5人で運
営することになり、議会機能の低下
を招く恐れがあることから、1人削
減は可能だが2人削減には反対す
る。また、議員全体の合意形成が整っ
ていない状態での議員提出議案の提
出についても反対である。

賛成討論

前回の市議会議員選挙
では候補者が議員定数を超えず無投
票となった。議員定数を削減するこ
とで選挙における競争性を高め、よ

り意欲ある候補者が立候補しやすい
環境を整えることができると思え
る。一方で極端な削減は、住民の意見
が適正に反映されない可能性もある
ことから、2人削減が適正であると
考える。

反対討論

議会が住民の意思を代
表し、住民の声を届ける役割を果た
すという上で多様な意見を反映でき
る数が必要であり、少数意見や異
なった意見も反映できることを保障
する定数が必要である。議会に求め
られていることは、市民の声をしっ
かり市政に反映させ、チェック機能
を果たすことであり、定数削減はこ
の願いと逆行すると考える。

賛成討論

各支館の廃止の計画や
水道検診等の改正等は、今後ますます
厳しくなる財政状況によるもので
あり、市民の痛みの前に、議会が身を
切る改革を行い、市民に理解を求め
なければならぬと考える。

賛成討論

議員を2人削減すれば、
4年間で約5,500万円を削減でき
る。議員が率先して、議会の自助努
力を行うことは市民に対する責任で
あり、信頼を築く第一歩である。私
ち自身が改革の先頭に立つことで市
民に寄り添い、ともに未来を築いて
いく覚悟を示すことが、今私たちに
求められているのではないかと。

令和7年度予算(骨格予算) 可決

一般会計 **296億400万円** (対前年度比3.1%増)

特別会計 **133億4,002万円** (対前年度比0.3%減)

企業会計 **45億8,235万7千円** (対前年度比3.7%増)

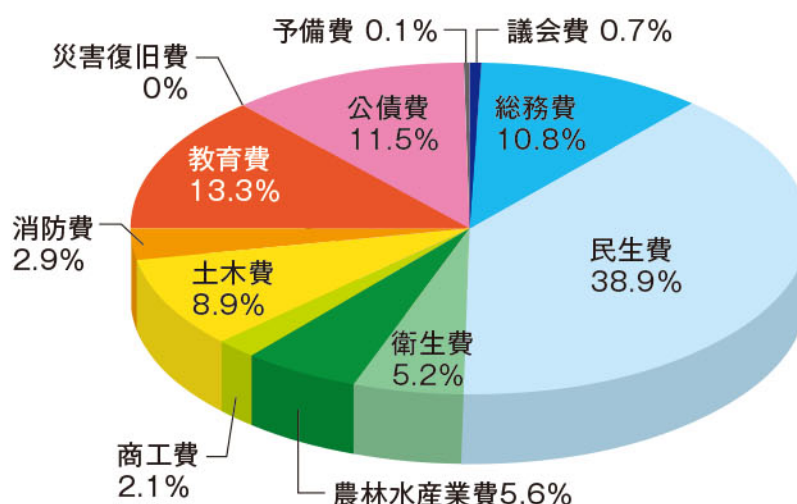
※骨格予算とは、選挙時期等の関係から政策的な判断ができていないため、人件費や扶助費などの義務的経費を中心に計上される予算

■ 一般会計

単位:千円

目的別歳出費目	予算額
議会費	196,523
総務費	3,194,719
民生費	11,513,909
衛生費	1,543,071
農林水産業費	1,645,912
商工費	627,306
土木費	2,638,629
消防費	860,909
教育費	3,935,025
災害復旧費	14,477
公債費	3,403,520
予備費	30,000
歳出合計	29,604,000

■ 目的別歳出予算割合



■ 特別会計

単位:千円

会計名	予算額
国民健康保険事業会計	6,335,177
後期高齢者医療事業会計	875,959
介護保険事業会計	6,128,884
合 計	13,340,020

■ 企業会計

単位:千円

会計名	予算額
水道事業会計	1,097,946
下水道事業会計	3,484,411
合 計	4,582,357



予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

委員長／工藤 圭一郎 副委員長／稲継 智康

分科会長／(総務文教)緒方 哲郎 (福祉厚生)猿渡 美智子 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く13名

可決

【議案第15号】

令和6年度菊池市一般会計補正予算

物価高騰対応重点支援事業(農業振興費)

9,951万7,000円

内容 生産資材、肥料、飼料等の高騰による農業経営への影響緩和及び事業継続の一助となる支援金を給付するもの。



質疑 これまで実施してきた物価高騰対応重点支援事業から変更する部分は。

答弁 対象者を畜産農家から農業者全体とし、前年度の飼料費を基に算定する方法か

ら販売金額を基に算定する方法へ変更する。

物価高騰対応重点支援事業(商工業振興費)

7,069万4,000円

内容 道路運送事業者等に対し、事業用として所有する車両台数に応じて支援金を交付し、さらに、中小企業・小規模事業者への対策として、児童手当受給対象年齢の子どもがいる世帯に、子ども1人当たり5,000円分の菊池市内共通商品券のめぐるん券を交付するもの。

質疑 めぐるん券の交付は子育て支援を目的としたものか。



めぐるん券

答弁 必ず市内で券が使われるため、中小企業・小規模事業者への対策として行うもの。また、子育て世代に市内事業者を知ってもらい、今後の利用につながることも期待している。

質疑 めぐるん券を、デジタル化する考えは。

答弁 課題と捉えており、今後のデジタル化を検討しているが、今回は紙で交付する。

私立保育園経費

1億8,278万8,000円

内容 子どものための教育保育給付費負担金で、令和6年人事院勧告に伴う保育士等の人件費引き上げを10・7%にする公定価格の改定に伴うもの。

質疑 いくらぐらいの賃上げになるのか。

答弁 月額で、保育士2万3,256円、主任保育士2万2,644円、所長1万6,600円、調理師2万4,400円の増額になる。



予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

可決

【議案第21号】

令和7年度菊池市一般会計予算

交通コミュニティ対策事業

9,582万3,000円

内容 ベンリカー、あいのりタクシー、路線バスの運行補助金等である。

質疑 コミュニティバス・乗合タクシー運行補助金を前年度より増額する理由は。

答弁 燃料価格の高騰と運転手不足のため事業者が賃上げしたことによるもの。

質疑 公共交通会議委員報酬について、何回の会議を予定しているのか。

答弁 2回を予定している。

質疑 公共交通の改善対策について、短期間で何らかの方向性を出すためには年2回の会議では足りないと考えるが、見直

す考えはないか。

答弁 交通計画を策定した後に、取組内容を精査し、交通会議のスケジュールを決定する中で、改めて増額の補正を計上させていただきたい。



学校ICT教育推進事業

(小・中学校)

3億8,070万8,000円

内容 令和2年度に導入した1人1台端末を県の共同調達により、更新するもの。

質疑 現在のWindowsタブレットからiPadに変更する理由は。

答弁 現在のWindowsタブレットは、授業中にアップデートが始まる不具合があったため、3種類のタブレットを学校で試行し、教育委員会においてアップデートをできるiPadを選定したもの。

質疑 キーボードによる入力と考えていないのか。

答弁 キーボード付きのiPadケースを導入する予定である。



家畜導入事業

1,200万円

内容 優良な肉用牛及び乳用牛の導入により、畜産経営基盤の安定を図るもの。

質疑 何頭分を見込んでいるのか。また、予算が不足する場合はどうするのか。

答弁 240頭分を見込んでいる。また、現時点では予算の範囲内での交付を考えている。

議員質問 過疎対策事業債が充当されているが、従来一般財源で対応していた事業へ充当するだけでなく、事業を拡充してほしい。また、過疎対策効果を最大限に活かせるソフト事業の新設を強く求めている。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

定 例 会

委員会・分科会

一般質問

研修・視察等

その他



【議案第22号】

令和7年度菊池市国民健康保険事業特別会計予算

国民健康保険事業費納付金
15億9,846万7,000円

内容 税率改正時に、17億1,000万円と見込んでいたが、県から通知が来たためである。

質疑 税率改正時より、不足する額が減ったのか。

答弁 約1億9,000万円不足すると見込んでいたが、約1億3,200万円となる。

質疑 納付金が減った要因は。

答弁 県全体の医療費が去年と比べ約40億円下がったため。

質疑 国保運営協議会からの答申で、不足する財源の半分、9,500万円を税収増で賄うという税率改正とは、大きな齟齬があるのではないか。



【議案第24号】

令和7年度菊池市介護保険事業特別会計予算

介護サービス等諸費
55億3,647万6,000円

内容 要介護認定者の居宅や施設の介護サービス給付費負担金である。

答弁 財源が不足するため、どこかの時点で判断し、税率改正を行う必要があった。また、平成20年来の税率改正であり、新年度の税率で市民への周知するため、12月定例会へ上程した。

議員問討議 子育て世帯の負担軽減を行っていただきたい。

質疑 訪問介護の単価が引き下げられ、訪問介護事業所が撤退した地域が107町村という実態があるようだが、本市に訪問介護事業所はどれくらいあるのか。

答弁 14事業所である。



質疑 本市においても今後、訪問介護事業所が足りなくなることは、他人事ではないと考えるが、事業所の経営実態や状況について把握しているのか。

答弁 昨年12月から各事業所、施設等に人材不足や課題等についてのアンケート調査を行っている。今後、集計と確認を行い検討していきたい。

議員問討議 介護の現場は、報酬改定及び人手不足によって、大変厳しい運営を迫られている。国の報酬改善等の制度改正が必要と考えるが、現在行っているアンケート調査を踏まえ、本市独自の施策を早急に行う必要がある。



【議案第25号】

令和7年度菊池市水道事業会計予算

質疑 工事請負費において、本定例会の会期内で判明した、職員による事務処理ミスと同等の積算はないか。

答弁 指摘のあった山砂及び週休2日工事実施要綱の件については、適正に積算した上で、予算を計上している。

水道事業における事務処理ミスに対する提言

(概要)

経済建設分科会より「令和7年度当初予算においては、本定例会の会期内で判明した、職員による事務処理ミスと同等の積算がないことを執行部に対して確認したが、今後同様の事務処理ミスが発生しないよう提言を行う」との再発防止策等に関する総括提言書が提出された。執行部からは、総括提言に対する的確な対策を講じるとの答弁があった。

新しく副議長が決まりました

令和7年第1回（3月）定例会では、平議員の辞職に伴う副議長選挙を行い、泉田栄一郎議員を選出しました。その他、広報特別委員会委員長には、泉田栄一郎議員、政治倫理条例検討特別委員会委員長には、田中教之議員が選任されました。

新議員紹介

4月13日の市議会議員補欠選挙で当選された議員を紹介します。



城 太志郎議員
総務文教常任委員会委員

このたび、副議長に選任いただきました「泉田栄一郎」です。
私は、副議長という仕事は議長を支え、全議員の声をしっかり受け止め、議会活動を円滑に進めていくことだと考えています。
現在、TSMCの波が菊池市にも到来しております。昨年は台湾宜蘭市

と台南市東区との友好締結等が行われました。私自身、台湾在住の経験を生かし、今後も文化、教育、経済、観光の国際交流に貢献しながら、私のモットーである現場第一主義で、議会、市政の発展に尽力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



副議長
泉田栄一郎

議会改革検討特別委員会の最終報告（抜粋）

この特別委員会は、より一層市民の負託に応えるため、また市民生活の向上と民主政治の発展に寄与するため、10人の委員で構成し、令和5年3月17日に設置され、19回にわたり慎重に審査してきた。

・費用弁償について、車の運転が困難などの理由で公共交通機関を利用する議員以外の費用弁償は、廃止するという結論となったものの、昨年12月定例会で、有志による条例改正案を上程した結果、否決となった。

・議員定数について、アンケート調査の結果を踏まえ、定数は削減するという結論となった。削減人数は、最終的に意見がまとまらなかったため、当委員会では示さないとの結論となった。

・政務活動費について、支給額は現状維持との結論となった。新たに海外研修の使途の認否については、姉妹都市及び友好都市と台湾の宜蘭市及び台南市東区の2つを加えた都市等への調査に限り、当該経費のうちの5分の1を認める結論となった。

・開かれた議会づくりについて、議会DX化は、スマートフォンを活用した議員モニター制度、会議録の検索システム及びリアルタイムでのネット配信の導入を新たなプロジェクトチームによる実証実験を行い審査すべきとの結論となった。



Q 入場券を期日前投票の前日まで届くよう発送できないか。

A 選挙期日の告示日以後に交付するよう定められている。



泉田 栄一郎 議員



Q 投票率向上のため、気軽に投票できるように、シヨッピンセンターに期日前投票所を設置できないか。

A 施設内での投票スペースの確保、各期日前投票所をオンラインで結ぶインフラ整備、事務従事者等の人的確保が必要となり、課題が多い。また、市役所本庁及び各支所の計4か所に期日前投票所を設置しており、投票の機会は確保されていると考えていることから、新たに商業施設への設置は考えていない。



その他の質問

- ・国際交流について

泗水西小学校付近の市道拡幅及び計画

Q 泗水町田島地域は大きな転換期を迎え、交通量の増加が見込まれる。市道拡幅等の計画はあるか。

A 市道田島住吉線は現道が約5mあるため現時点での道路拡幅は計画していないが、宅地開発計画がある区域内の市道は、安全面等を考慮し、道路拡幅等の計画をしている。市道田島住吉線と県道熊本菊鹿線の交差点から堤防までの区間は、スムーズな通行が出来るよう今後検討していく。

Q 带状疱疹ワクチン接種の国の助成についてどう考えるか。

A 国が示している対象者に助成を行う方向で考えている。



島 春代 議員



Q 定期接種化が決定したが、国の助成を受けられない対象外の年齢の方や発症しやすい50歳からの方々への市の支援策はないか。

A 2市2町で構成している菊池郡市保健協議会で国の基準に合わせ実施することを決定し、準備を進めている。対象年齢以外の方への対応は、引き続き、国や他市町の動向を注視していく。

AED設置状況

Q 女性の救命処置をする時に、胸部へのAED使用は抵抗があるとの意見があり、救命率の低下に

繋がる恐れがある。プライバシー保護と女性への抵抗感を少なくするために、AEDと共に胸部を覆うバスタオルを配置してはどうか。

A AEDによる救命処置の際、肌に直接触れたり見たりすることへの抵抗感が障壁となり、適切な処置が迅速に行われない場合があると認識している。そうした声をもとに開発された、体を覆ってプライバシー保護をする「AEDシート」という製品があり、救命処置に有益なものであると考えている。今後、各施設への導入に向け検討していく。

その他の質問

- ・道路の安全管理について



Q 菊池温泉街リブランディング事業の概要は。

A 菊池温泉街の再生と魅力向上を目的とした事業である。



稲継 智康 議員



Q 菊池市温泉街の復興を目的として、昨年度から開始された「菊池温泉街リブランディング事業」について、2年間の取組内容とその成果及び今後の方向性は。

A 菊池温泉街リブランディング基本構想を策定したほか「旅館・ホテルの経営基盤強化」「食を通じた温泉街の魅力化」「景観まちづくりの推進」の3つのプロジェクトチームを立ち上げた。

また、先行して行う試行企画として、菊池の食の魅力を生かした泊食分離事業、歩きたくなる温

泉街の景観づくりを目的とした温泉街ライトアップ事業に取り組んだほか、令和10年度までの前期5年間の実行計画を策定した。

まちなかデザイン会議

Q まちなかデザイン会議において最も重要なのは、わいふ一番館の活用だと考えるが、今後、飲食業などでも利用できるように活用の幅を広げる予定はあるか。

A 現状は文化施設であるため、今後は利用されやすい施設となるよう改善を図っていききたい。

その他の質問

- ・ふるさと菊池応援大使について

Q 「こども計画」策定の中で重視していることは。

A 子ども・若者の権利の保障や当事者の声を反映させること。



本藤 潔 議員



Q 今回の「こども計画」を推進するに当たり「こどもまんなか社会」の理念をどのように反映させるか求められている中で、本市が特に重点を置く施策は何か。

A 「こどもまんなか社会」の実現に向けて市内の関連部署がそれぞれ施策において取り組んでいく必要がある。特に重点を置く点は仕事と子育ての両立支援が重要であること

ことから、当事者からの要望が多い病児・病後児保育事業を拡充していく。

こども未来戦略方針



ふるさと納税

Q ふるさと納税額の現状から今度どのような戦略的取組を

するの。

A 寄附額は県内45自治体中26番目の4億3,542万円である。今後、本市の強みである農産物等に加え、体験型返礼品やエミューの卵、アーテイスト作品など話題性のある返礼品を増やしていく。寄附の目標額は6億円である。

Q 寄附の用途は市民にどう活用されているのか。

A 寄附金は「教育と文化」や「子育てと健康福祉」など5つの分野から寄附者が選り、就学支援事業や学校ICT教育推進事業、子育て支援事業、防犯対策事業や交通コミュニケーション対策事業などに充てられている。

その他の質問

- ・移住定住促進策について

Q 文化財の保存と活用に対する歴史文化基本構想の考えは。

A 「文化財保存活用地域計画」の策定を検討していきたい。



安武 睦夫 議員



修復を求める修行道のある岩本円通寺

Q 菊池一族や菊池氏遺跡を中心に捉えながらも、指定、未指定など様々な文化財が各所に存在している。今後、支援なくしては保存・活用することは難しいと考えるが、市民の声をしっかりと聞きながら文化財保存活用に関する全市的な計画策定の考えは。

A 今後、文化財の実態把握、地域の歴史、特色などを踏まえ、市全体の文化財の総合的な計画として「文化財保存活用

地域計画」を上位計画と位置づけ、地域住民、関係部署と連携し、策定を検討していきたい。

シビックプライドの醸成

Q 転入者が増えていく中、生まれ育った郷土愛から全ての関係者がまちを誇りに思う「シビックプライド」の醸成を目的とした理念条例制定の考えは。

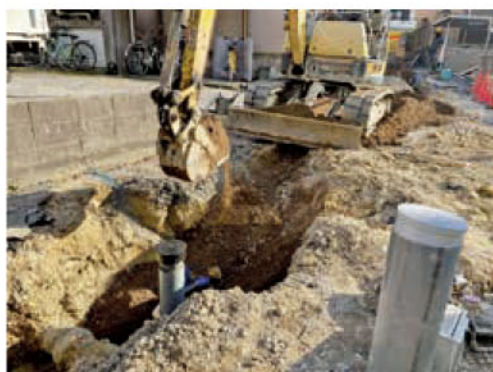
A シビックプライドの考えは、これまで様々な施策の中で溶け込ませ醸成を図ってきた。シビックプライドの言葉は使わずとも、着実に浸透してきていると考えているため、当面は今のやり方で進め、参考に他市の状況等も研究をしていきたい。

Q 市役所の積算発注ミスを業者に負担させるのか。

A 工事中のものは協議するが、完了した工事の支払いは困難である。



荒木 崇之 議員



Q 水道局が発注した水道管工事において、週休2日の導入促進の費用（800万円）と埋め戻し用の山砂代（1,900万円）を令和2年から積算し忘れていたのに、過去に遡って業者に返金しないのは市の詐欺的行為である。

今後水道業者に山砂代を負担させるといった便宜を図らせている状態が続けるのか。

A 今回、週休2日工事、埋め戻し用の山砂の設計時の計上誤りの案件が発生したことを深くお詫びする。

完了した工事は、契約約款の設計図書の変更規定が実施中の工事に限られること、また、請負契約に基づき受注者からの請求により工事代金の支払いが完了していることから、遡って追加分を払うのは困難である。

今後、職員のスキルアップに向け、講習会への参加や、定期的なシステム操作研修を実施するとともに、チェック体制の強化を図っていく。

その他の質問

- ・地域おこし協力隊について

Q 不登校の子どもは増えているか。

A 令和6年末の不登校児童生徒数は188名で、1年前から13名増加している。



猿渡 美智子 議員



Q 文科省は全ての公立小中学校に校内教育支援センターを広げたい考えだが、

A 学習をはじめ進路決定につながるなど、教室外の生徒の居場所として機能しており、学校復帰への第1歩として成果を上げている。

Q 今年度から洒水中には、教室に入ることが難しい子どもの学びの場として、校内教育支援センターが設置された。どのような成果があるか。

市はどのように取り組むか。

A 今後全ての市内中学校に校内教育支援センターを段階的に設置していきたい。それに伴い、これまでの校外の教育支援センターを段階的に集約し拠点化する予定である。

高齢者の生活支援

Q 朝からのごみ出しが困難な方のために、ゴミステーションがある所では「前日OK」のシールが配布できないか。

A ごみ出しルール等は、区やステーション毎の管理者で決められているルールのため、市から緩和を求めるというよりは、高齢者福祉の観点から、ちょっとしたお手伝いや声掛け、見守りができるような地域づくりを進めていきたい。

Q 菊池地域2市2町で公共交通会議を設置してはどうか。

A 現時点で設置する予定はない。



田中 教之 議員



A 市民会館や歴史資料館等は、文化振興の施策を進める上で重要な施設であると考えており、今後充分検討していきたい。

Q 文化会館の大ホールが使用できない状況であるが、今後、誘致予定の商業施設と一体となつて、1,000名規模の市民ホールと歴史資料館を建設してはどうか。集客面での相乗効果が期待できると考えるが、市の考えを示せ。

文化施設について

い。議員からの提案は、参考とさせていただきます。

消費者行政

Q 消費者トラブルが多様化複雑化する中で、消費生活センターの体制強化が求められるが、市の考えを示せ。

A 消費生活センターの相談員に有資格者を引き続き配置する。さらに、研修への積極的な参加を図り、相談員の知識及び対応力向上に努める。

また、被害防止の見守り体制の構築のため、警察や市内事業所等関係機関との連携強化を行い、広報や防災・行政ナビ等での周知や消費者教育出前講座等の啓発活動を積極的に展開する。

Q 複式学級により教職員の負担は増えるが市としての対策は。

A 複式学級解消のため、小規模特認校制度を開始した。



福島 英徳 議員



Q 本市における外

A 持続可能な地域公共交通の在り方を検討するため、今年度新たに「菊池市地域公共交通計画」を策定中である。その中で幹線的な路線バスや地域内交通の運行形態の見直し等を行い、実情に即した公共交通を検討し、計画を基に施策実施に向け取り組む。

Q 複式学級が見込まれる地区の方からは、公共交通の便が悪いとの理由で子育て世帯が離れていくとの声も多い。それを回避するためにも公共交通に関する対策は重要であるが市の考えを示せ。

国人数も年々増え続けている。外国ルーツの子どもも増えてくると考えられるが、学校において偏見や差別なく受け入れられる態勢は整っているか。

A 日本語の理解が難しい子どもや保護者への対応として、翻訳機を購入し、全小中学校で必要に応じて使用できるようにした。さらに、子どもの状況に応じた学校での日本語指導に加え、外部指導委託を行っている。また、人権教育やグローバル教育の推進を図っており、多様な価値観や互いの人権を尊重する意識と感覚を持った児童生徒の育成に努めている。

その他の質問

- ・既存の市の施設活用について

Q JASMIにPFAS (PFBS、PFBA) の使用中止を求めるべきではないか。

A 国や県の動向を注視しながら、情報収集等を図る。



東 奈津子 議員



Q 半導体企業JASMIの第一工場で使用する物質が、PFAS(有機フッ素化合物)のPFBS、PFES、PFBAであることが明らかとなった。PFBS、PFBAについては、健康への影響がアメリカや欧州では指摘されている。地下水を涵養する地域で、この2種類を使用していることは重大である。JASMIには多額の

公費が投入されており、社会的責任が問われている。使用中止を求めると同時に、住民への説明を履行させていくべきではないか。

A PFASのうち、PFBS及びPFBAについては、関係法令による目標値の設定なども含め、まだ国レベルでの検討段階であることなどから、今後における国や県の動向を注視しながら、県や近隣自治体からの情報収集・共有等を図る。

その他の質問

- ・生活保護行政について

Q 菊池市給水条例の改正を撤回する考えはないか。

A 現状の考え方や方針を改めての改正や廃止なども考えていない。



二ノ文 伸元 議員



Q 令和8年度より現在毎月の水道検針から隔月検針となる給水条例案が決定されたが、現在の事業内容や水道検針員の役割や思いに鑑み、この給水条例の改正を撤回する考えはないか。

A 人口減少に伴う料金収入の減少及び物価上昇に伴う費用の増大等により、今後、水道事業経営が悪化する見通しのため、検針業務を含む水道事業徴収事務委託料の経費削減を目的に、議会の議決をいただいたものである。そのため、議決いただいた現状においては、撤回の手続きはなく、現状の考え方や方針を改めての改正や廃止なども考えていない。

ラブベンチについて

Q ラブベンチの発案者とその思いは何か。また、既存のベンチのフォトコンテスト等による有効活用等の考えは。

A 本市にしかない親しまれるベンチ制作を目的に市長が発案した。

今後、まちなかウォーカブルの推進により、このベンチを観光資源として活用していきたい。また、議員提案のアイデアも活かし、本市のイメージアップにつなげていきたい。



菊池公園城山展望所のラブベンチ

Q 給付型奨学金教育振興小川基金の活用状況は。

A 49人に総額5,963万3,334円を給付した。



木下 雄二 議員



Q 故小川水寶氏の寄附金をご遺族のご理解の基に奨学金制度が平成30年10月から始まったが、給付型奨学金教育振興小川基金の活用状況は。

A 平成30年度から令和5年度までの6年間で、49名に対し、入学一時金として1,610万円を給付し、奨学金として4,353万3,334円を給付した。



小川基金記念碑

Q 令和2年7月に廃止と示された、重味グラウンドは、ドクターヘリポートとして存続となったが、各支館の市民への説明と今後の取組は。

A 支館の管理運営に関するアンケートを龍門・迫間・花房・戸

その他の質問

- ・竜門ダム市町村交付金の龍門地域振興基金設立
- ・九州産廃菊池事業所廃止後の水迫地区への対応

A 開発事業者に対し、工事再開の有無について回答を依頼している。

また、九州管内の太陽光発電事業全般を所管する九州経済産業局に対し、現状報告、相談等を行い、直接的な情報共有等を図っており、状況に応じ開発事業者への対応に関する確認を行いたい。

Q 菊池市環境基本条例違反から開発が進んでいる迫間地区の迫間型太陽光発電事業の現状と今後の対応は。

崎の4地域で実施中である。

今後、アンケートの結果を踏まえ、市民の理解を得られるよう丁寧に取り組んでいきたい。

福祉厚生常任委員会研修報告

■日程 令和6年11月12～14日

■場所 東京都品川区、江戸川区及び
神奈川県横須賀市

【品川区】品川区介護職員確保戦略

品川区では、令和2年から、実態把握を行い、区や法人が実施すべき具体的な取組案をまとめ実施された。

品川介護福祉専門学校の生徒へ、奨学金を貸し付け、卒業後に区内の施設で3年間働くと、奨学金の返済を免除する修学資金貸付制度を行っていた。

また、従事者に、月額1万円の居住手当を支給し、253事業所の約4,200人を対象に支給されていた。



【江戸川区】ひきこもり支援

江戸川区では、ひきこもりは社会全体で解決していく課題であると認識され、約18万世帯に対し実態調査を実施し、様々な施策を展開されていた。

駄菓子屋居場所よりみち屋は、最短15分からの就労体験により、社会とつながることで、自分の存在を理解すること

ができる施策となっていた。

【横須賀市】終活支援

横須賀市では、無縁墓地に、身元が分かる市民の遺骨が多いため、生きているうちに孤立・孤独とならないように相談できる施策が必要だと考えられた。

エンディングプラン・サポート事業は、葬祭事業者と契約を行い、生前に本人の意思で葬儀等を決定し、無縁仏とならないようにする事業であった。

また、私の終活登録事業は、市のシステムに親族等の緊急連絡先、エンディングノートの保管場所などを登録し、警察や病院等からの問い合わせに市が回答を行うことで、親族への連絡や、死後の事務等について滞りなく行うことができるようになっていた。



今回の視察では、各自治体、調査を行い住民のニーズに沿った施策を実施されていた。また、市が行うべきこと、住民等が行うべきことを明確にし、協力して課題解決に取り組むことは、本市で参考にできるものだと感じました。

議会をインターネットで！

傍聴においでいただけない場合でも、インターネットで過去の本会議の録画映像をご覧いただけます。

菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと会議録画映像を見ることが出来ます。

なお、紙面の一般質問のページのQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像へアクセスできます。

※リアルタイムでの中継ではありません。

録画映像の配信までに時間がかかる場合があります。



菊池市議会HP
議会中継

菊池市議会 議会映像 検索

議長交際費を公表します

令和7年2～4月分は、左記のとおりです。

会費（公的性格を有する

団体との協議会費及び負担金）

4件 2万8,000円

その他（他自治体への研修、及び議長会等

経費）

1件 5,983円

合計

5件 3万3,983円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出に当たっては、社会通念上、妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めています。

総務文教常任委員会 研修報告

■日程 令和7年1月21～23日

■場所 奈良県奈良市・島根県松江市

【奈良市】オンラインによる英語授業の取組

奈良市では、子どもの未来・可能性を広げ、理論的に伝えることができる生徒を育てることを目指し、A・I・T派遣を廃止し、1人1台端末を活用したオンライン英会話に移行されていた。予算を約3分の1に圧縮しながらも、英語使用場面をより多く創出でき満足度も高い取組となっている。

本市での1人1台端末を活用したオンライン英会話の導入検討に向けた調査をお願いしたい。
※その他の視察項目 中学校部活動の地域移行の取組



【松江市】A・Iデマンドバス等のコミュニティバス事業の取組

松江市では、時刻表や決まった運行ルートがなく、予約状況に応じ最適な運行ルートをA・I（人工知能）が考え走る、A・Iデマンドバスを、郊外を中心に運行されていた。アプリか電話で予約が可能で、柔軟な運行ができることから路線バスに比べ、バス停の数を約7倍に増やすことができ、運賃は200円で乗れるため、利用者は、約1.8倍に増えたとのことだった。

ただし、時刻表がないため、予約の状況によって、到着時刻が遅れることもあり、通勤や通学には適さないというデメリットがあった。

本市でも、交通弱者が今後とも増加すると予想されるため、べんりカーや、あいのりタクシーの利便性向上に努める必要があると感じた。



議会運営委員会研修報告

■日程 令和7年1月28～29日

■場所 広島県三原市・府中市

【三原市】政策提言の取組について
三原市議会では、2年間の常任委員会の任期中に政策提言を行うよう取り組まれている。

市民との意見交換を通して課題を抽出し、所管事務調査によりその解決策を提言につなげるという流れが確立している。そのことにより、明確な目的の下、委員会活動が充実したものとなっている。



また、政策提言の決議前に、全員協議会で政策提案に対しての政策討論会を行うことで、所管委員会以外の議員の視点も取り入れてあり、本会議で決議するためのプロセスは大いに参考となった。

【府中市】事務事業評価について
議員が事業の内容等を確認し、その成果を妥当性・有効性・効率性等の観点から評価し、その問題点を明らかにしようとするもの。常任委員会ごとに事業を抽出し、各

委員が評価した結果を取りまとめ、提言として市長へ提出し、今後の事務事業の点検・改善につなげ、来年度の予算編成への反映を求める取組であった。

市民フリースピーチについて

日ごろ市民が考えている市政についてのアイデアや企画を発表していただき、市政への参画意欲を高めるきっかけとなることを目指している。応募者から広報広聴委員会が選考し1人5分以内で市政に関する内容をスピーチしてもらう。スピーチの内容は、委員会で行う上げ所管事務調査や一般質問を行うなど、後につなげる取組を進められている。

議員のなり手不足が叫ばれている中、議会に少しでも関心を持つてもらおうきっかけづくりになると感じた。そして、市民の声を市政に反映できれば、市政への参画意識も高まると思う。

今回の行政視察では、二元代表制の議会の役割を担うために参考となる点が多々あり、今後の議会運営に生かしていきたい。



議会と各種団体との意見交換会

菊池市議会では、市民の皆様にかれた議会を目指し、各種団体との意見交換会を開催しました。

常任委員会ごとに、施策に反映できるように、団体やテーマを絞り、意見交換会を行いました。

※各種団体の名称は略称で記載します。

総務文教常任委員会／2月6日

小規模特認校(花房小・戸崎小・泗水西小)の校長・各小学校PTA役員・地元区長会

学校選択制について

(学校の現状)

- ・花房小学校 全校児童数が57名。今年度から3・4年生が複式学級になり、来年度は、3・4年生と5・6年生が複式学級になる見込み。
 - ・戸崎小学校 全校児童数が69名。令和9年度から2・3年生が複式学級になる見込み。
 - ・泗水西小学校 全校児童数が61名。来年度の3・4年生が複式学級になる見込み。
- (複式学級について)
- ・小規模特認校制度の導入はありがたい。

- ・自己学習ができるなど、複式学級のメリットがあるが、クラスが1つ減ると、担任1人と専科1人の2人の先生が減り、先生の負担が増える。

市への要望

- ・子育て世代を地域に呼び込むことが課題で、子どもたちが中学・高校へ通うための交通網を整備してほしい。
- ・複式学級になったことで減った先生を、市独自に再配置することはできないか。
- ・統合・廃校は考えられない。このまま存続することが望ましい。

総務文教まとめ

- ・現状の課題等を精査し、解決のための取組を本市の施策に反映するよう提言していきたい。



福祉厚生常任委員会／2月4日 市内特別養護老人ホーム施設

介護職員不足の現状と対策

(職員不足の現状)

- ・ぎりぎりの状態の運営で、体調不良や身内の不幸でも休みにくい。
- ・職員の数に合わせているため、施設が部分的に利用できない。
- ・グループホームは、職員の配置が見込めず休止している。
- ・ケアマネジャーなどの職種は募集をかけても集まらない。また、職員が高齢化し、若い人も入って来ない。
- ・施設が老朽化し、建て替えが必要となったとき、原資がないため、廃業しなければならなくなるのではないか。



（外国人労働者の受け入れ状況）

- ・人員不足で指導が行き渡らず、成長が難しい。
- ・外国人へ貸すアパートは限られ、住宅確保が難しい。

市への要望

- ・待機者の減少のため、入所サービスへの移行緩和を行ってほしい。
- ・職員の処遇改善や、家賃補助の支援をしてもらいたい。
- ・中高生の福祉に対する理解を深めるため、福祉体験等の支援をしてほしい。
- ・ICT機器の導入について、市独自の助成があればよい。

福祉厚生まとめ

- ・介護施設に対するアンケート調査の結果を含め、所管事務調査等の審査を行い対策について協議する計画である。

経済建設常任委員会／2月14日

商工会、JA菊池、建設業協会 各青年部

担い手不足人材不足について

（現在の状況）

- ・求人を出しても人が集まらず、外国人技能実習生制度を利用している。

- ・若年層の人材を雇用したいが、労働条件や待遇面での課題がある。

- ・ハローワークを通じた求人活動の効果は限定的である。

- ・中小零細企業には人が集まりにくい。

（人材確保の対策）

- ・若年層はホームページからの問い合わせが多い。

- ・マッチングアプリでは人は集まるが、コストがかかる。

- ・子どもたちへ職業紹介を行い、畜産の仕事を知ってもらった。

市への要望

- ・公共工事の発注時期の早期化と小規模事業者への配慮をしてほしい。

- ・電子納品のみでの検査を受け入れてほしい。

議員の意見

- ・市のホームページや広報紙を活用した求人情報の提供など、市独自の求人紹介制度を設立すべきではないか。

- ・地元の事業者を知ってもらうためのキャリア教育等を行い市内の雇用促進につなげる仕組みが必要。

- ・小規模事業者に対する仕事を増やす必要がある。入札制度の見直しを行った方がよい。

経済建設まとめ

- ・引き続き、市や各団体などの関係機関と連携し、市内事業者の担い手不足、人材不足解消に向けて、調査研究していく。



いただいたご意見を糧にして、各委員会とはもとより、各議員が今後の議会・議員活動につなげてまいります。

このたび、ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございます。

※内容は、紙面の都合上、抜粋して記載しています。

【お詫びと訂正】

議会だよりVol.80（令和7年3月1日号）の18頁に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

菊池市議会議長賞…石田實さん（誤）

菊池市議会議長賞…金子美之さん（正）

令和7年 第2回 菊池市議会定例会日程の予定



月 日	区 分	日 程
6月13日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(6月14日～17日 休会)		
6月18日	本会議	質疑・委員会付託
6月18日	委員会	予算決算常任委員会
6月19日 6月20日	本会議	一般質問
(6月21日～22日 休会)		
6月23日 6月24日	本会議	一般質問
6月25日 6月26日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(6月27日～30日 休会)		
7月1日	委員会	予算決算常任委員会
(7月2日～3日 休会)		
7月4日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議会傍聴を お待ちしております！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席は、バリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しください。皆さまのお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継をご覧いただけます。



※感染症対策などにより、入場に制限がある場合があります。

**6月定例会は6月13日(金)に
開会する予定です。**

編集後記

厳しい寒さを越えてやっと春の暖かさを感じる頃となりました。卒業式や卒園式の子供たちの姿を見ると、無限の可能性と輝く未来に力強く進んでほしいと願うばかりです。そして、未来がより良い菊池市である様に私たちの責任は重大であることを再認識いたします。

この議会だよりが皆様に届くころは、水田が広がる田植えの準備の頃かと思えます。物価高騰が続いている中で備蓄米の放出があるほど今はお米の不足と高騰に消費者生産者共に苦しい状況ですが、今年の新米が出る頃には、どのように私たちを潤してくれるか期待したい所です。私たち議員も皆様の声を市政に届け、潤いある町づくりに尽力してまいります。

議会広報特別委員 島 春代